

# だれでもできる 略図作成システム

## 目 次

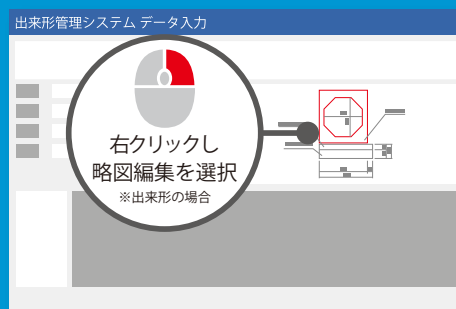
01	新規で略図を作成する	1	10	寸法線を描画する	10
02	コマンドについて	2	11	ハッチングをかける（塗り）	11
03	プロパティボックスについて	3	12	ハッチングをかける（ライン）	12
04	線を引く	4	13	ハッチングをかける（パターン）	13
05	操作を元に戻す / やり直す	5	14	図面を保存する	14
06	スナップツールバーについて	6	15	他の図面に複写する	15
07	図形を削除する	7	16	線幅・線色・線種を変更する	16
08	ボックスを描画する	8	17	文字サイズを変更する	17
09	図面を拡大・縮小表示する	9	18	文字を修正する	18

### 略図作成システムの起動方法



『デキスパート基本部』の画面左にある  
[略図作成] をクリックします。

または



『出来形管理システム』や『写管屋』など、  
各ソフトの略図欄から起動できます。

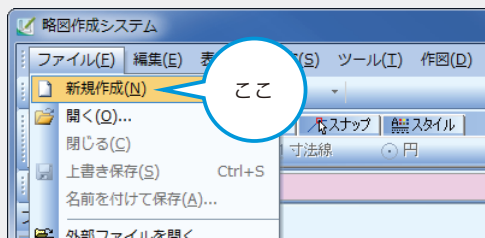


# 新規で略図を作成する

新規で略図を作成する画面を開きます。

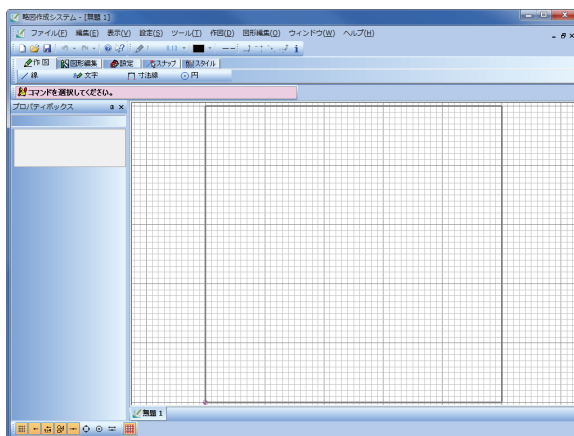
## コマンド

[ファイル] → [新規作成]



## 操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 新規画面が表示されます。



## 図面データを開く場合

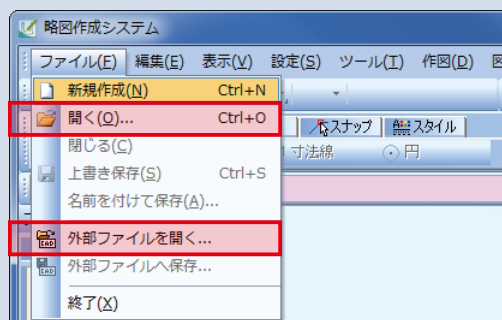
- デキスパート内に保存しているファイルや、インストールした略図を開く

[ファイル] → [開く]

- 外部保存している図面を開く

[ファイル] → [外部ファイルを開く]

※ 拡張子が RKZ、ANT、P21、SFC、DXF、DWG、JWC、JWW、HOC など



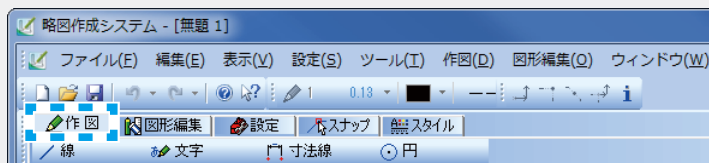
# コマンドについて

操作の多くはここからはじまります。

タブ内のメニューに各コマンドが分類されています。

## 〔作図〕 タブ

線や図形、文字などを描画するためのコマンドです。



### 線

- 線分
- ボックス
- ハッチング
- 高さ記号

### 文字

- 文字入力

### 寸法線

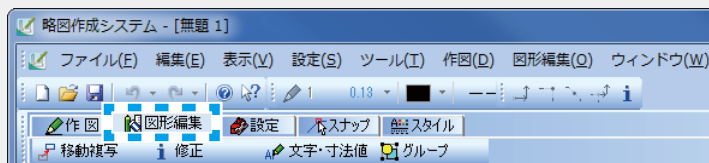
- 寸法線

### 円

- 円中心
- 円弧3 [座標/図形]

## 〔図形編集〕 タブ

図面上に描画されているものを編集するためのコマンドです。



### 移動複写

- 移動
- 回転移動
- 反転移動
- 複写
- 拡大縮小

### 修正

- プロパティ
- 削除
- 伸縮(単線)
- 端点移動
- 折線展開

### 文字・寸法値

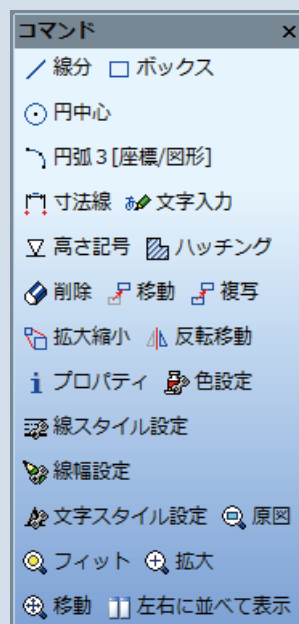
- 文字修正

### グループ

- グループ化
- グループ解除
- 前面へ移動
- 背面へ移動

## コマンドツールバーについて

頻繁に使用されるコマンドについては、コマンドをアイコンと文字で表記したツールバーをご用意しています。

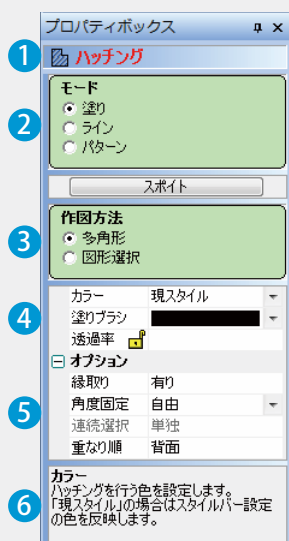


# プロパティボックスについて

マルチボックスから選択した各コマンドを設定します。

※選択したコマンドごとに表示される項目が異なります。

プロパティボックスの各名称と簡単な説明をします。



## 1 コマンド名

選択しているコマンド名が表示されます。

## 2 モード

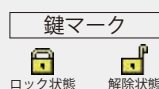
選択しているコマンドのモードを選択します。

## 3 形式・形状

選択しているコマンドの描画方法や表示形式を選択します。

## 4 設定

文字や数値の入力や、スタイル・色の設定をします。



入力した数値をロック（数値保持）する機能です。  
クリックするとマークが切り替わります。  
続けて同じ数値で作図する場合に便利です。

## 5 オプション

コマンドの補足の設定をします。

## 6 説明

プロパティボックスの中で選択されている部分の説明が表示されます。

## 入力履歴について



操作を実行した数値などは、履歴が残ります。

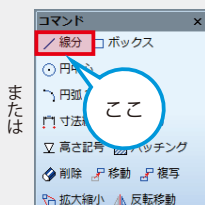
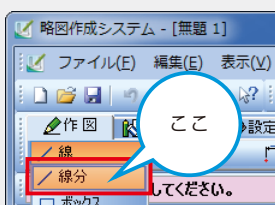
入力欄をクリックすると、[▼] ボタンが表示されるので、選択することで入力する手間が省けます。

# 線を引く

線を引きます。

## コマンド

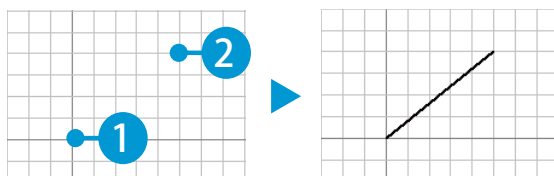
[作図] → [線] → [線分]



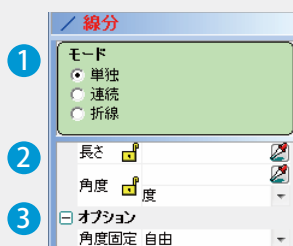
## 操作手順

### A モード：「単独」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 始点と終点をクリックします。



## プロパティボックスの設定



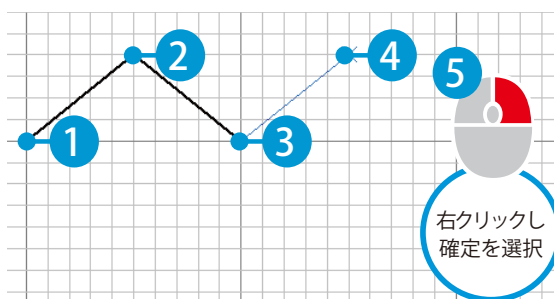
- 1 モード
  - A 【単独】 1本の線を描画します。
  - B 【連続】 1本の線を連続して描画します。
  - B 【折線】 折れ線を描画します。

- 2 【長さ】 線の長さを設定します。  
【角度】 線の角度を設定します。

- 3 オプション  
角度固定の設定をします。

### B モード：「連続」「折線」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 始点、折点、終点をクリックし、確定します。



## 数値の設定について

数値の設定は「mm」などの単位ではなく、表示されているグリッド（マス目）分で設定されています。

# 操作を元に戻す / やり直す

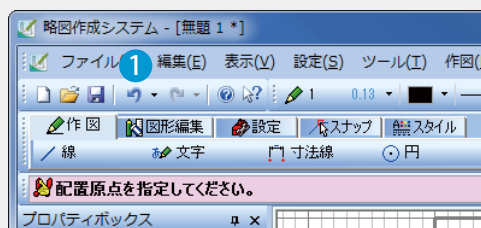
以下の方法で、間違えた操作をやり直すことができます。

## 図面に反映した操作をやり直す場合

### 1 確定した操作を取り消したい

[↶] ボタン

※操作中に [↶] ボタンをクリックすると、1 つ前に確定した操作が取り消される場合があります。



## コマンドの途中で操作を間違えた場合

### 1 1 つ前の状態、または 1 つ前の画面に戻りたい

[右クリック] → [オペレーションバック]

1

2

確定	右ダブルクリック
オペレーションバック	Backspace
初めから	

### 2 操作を初めからやり直したい

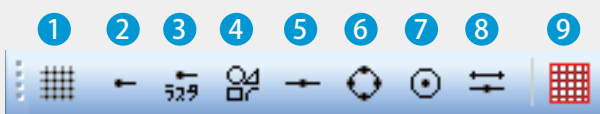
[右クリック] → [初めから]

※プロパティボックスに入力した数値もリセットされる場合があります。

# スナップツールバーについて

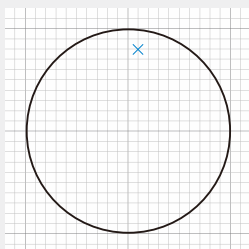
スナップ機能を使うと、図形を作図する時に、特定の点に吸着させて描画できます。

スナップツールバーの各設定について



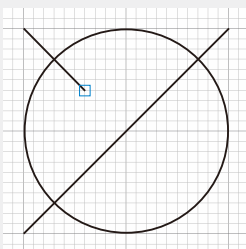
## 1 グリッド

グリッド・用紙枠に吸着します。



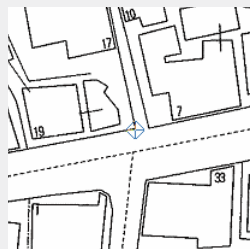
## 2 端点

端点・交点・点に吸着します。



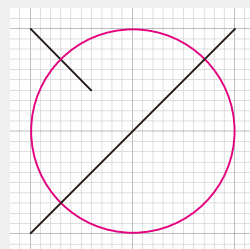
## 3 ラスタ端点

ラスタデータの端点や、データ内の端点に吸着します。



## 4 図面要素

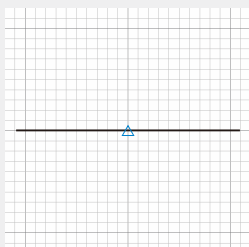
図形要素として吸着します。



※選択しているコマンドによって変わらないこともあります。

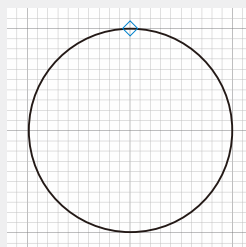
## 5 中点

中点（中心）に吸着します。



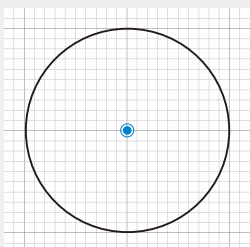
## 6 円弧 4 分割点

円・円弧・楕円・楕円弧の4分割点(上下左右)に吸着します。



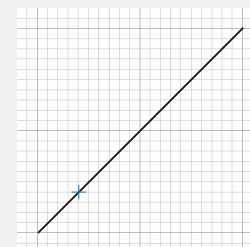
## 7 中心点

円・円弧・楕円・楕円弧の中心点に吸着します。



## 8 線上点

路上に吸着します。



## 9 グリッド On/Off グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。

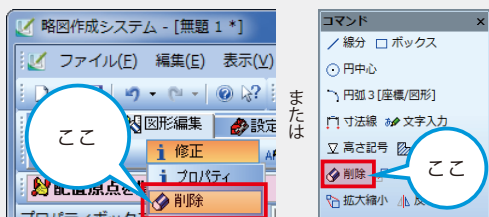


# 図形を削除する

不要な図形を削除します。

## コマンド

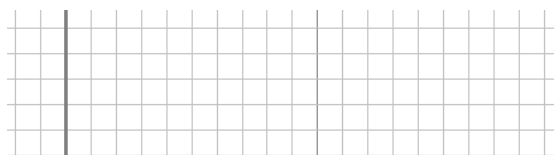
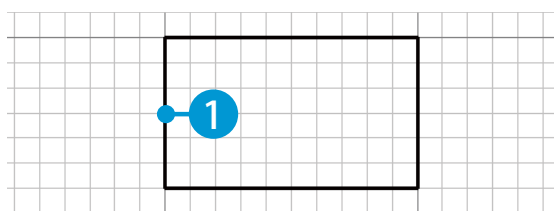
[図形編集] → [修正] → [削除]



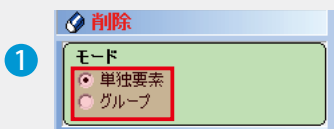
## 操作手順

### A モード：「単独要素」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 削除する要素をクリックします。



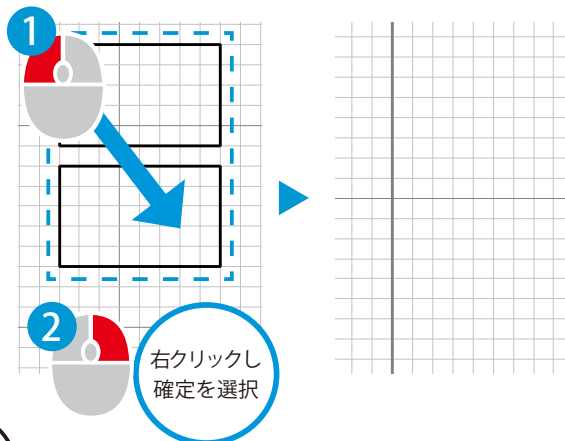
## プロパティボックスの設定



- 1 モード
  - A 【単独要素】  
選択した要素を削除します。
  - B 【グループ】  
複数の要素を選択して削除します。

### B モード：「グループ」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 削除する要素をドラッグで選択し、右クリック→「確定」をクリックします。

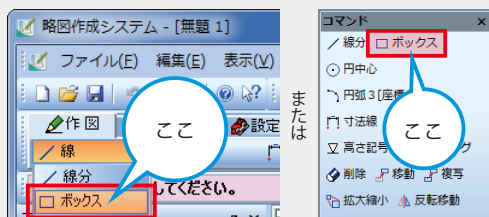


# ボックスを描画する

ボックスコマンドで長方形を描画します。

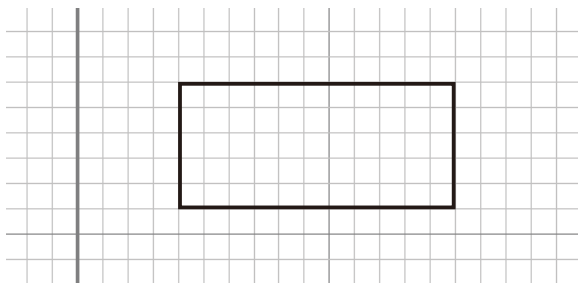
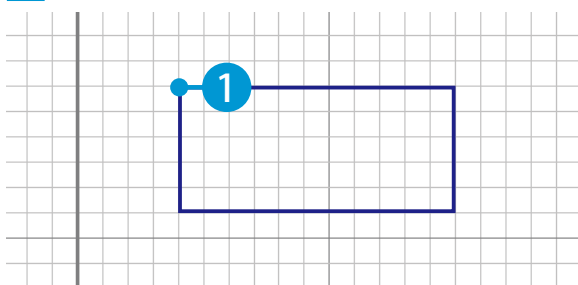
## コマンド

[作図] → [線] → [ボックス]

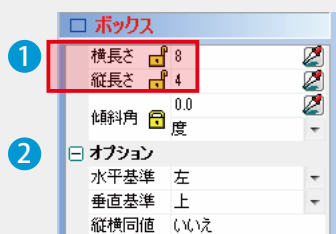


## 操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 任意の位置でクリックします。



## プロパティボックスの設定

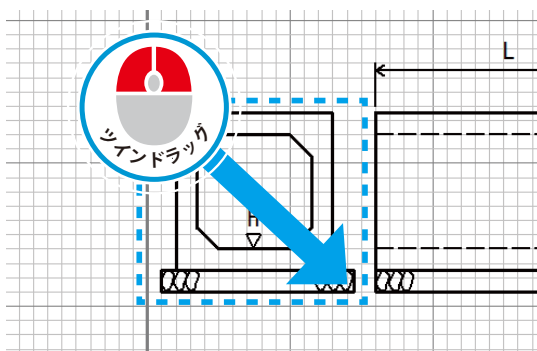


- 1 【横長さ】  
横の長さを設定します。  
【縦長さ】  
縦の長さを設定します。  
【傾斜角】  
角度を設定します。
- 2 オプション  
基準や比率などを設定します。

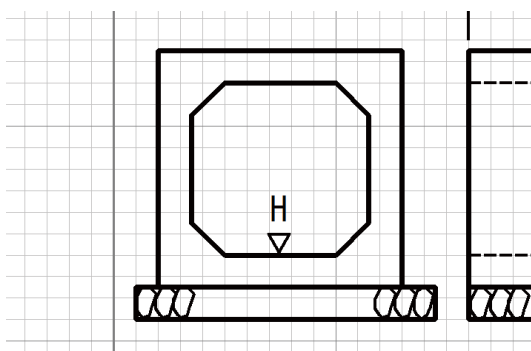
# 図面を拡大・縮小表示する

ツインドラッグで図面を拡大・縮小表示します。

拡大前



拡大後



## 特殊なマウス操作について

### ツインドラッグ

マウスの右ボタンと左ボタンを同時に押しながら、マウスを「左上」「右上」「左下」「右下」に動かします。

### ホイールドラッグ

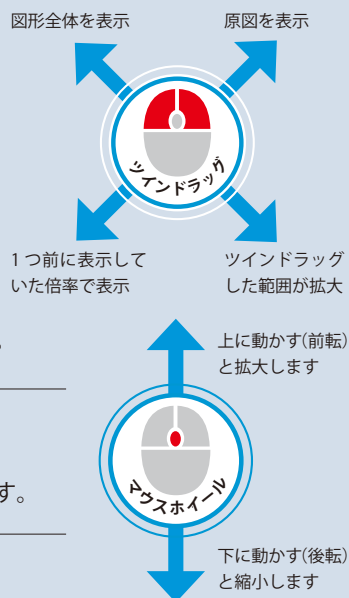
マウスホイールを押しながらドラッグします。  
マウスカーソルが変わり、自由に画面をスクロールできます。  
※マウスホイールが付いたマウスをご使用の場合に限り有効な機能です。

### マウスホイール

マウスホイールを上下に動かすと、画面を拡大・縮小することができます。

### ツインクリック

マウスの右ボタンと左ボタンを同時にクリックすると、クリックした位置が中心に移動します。

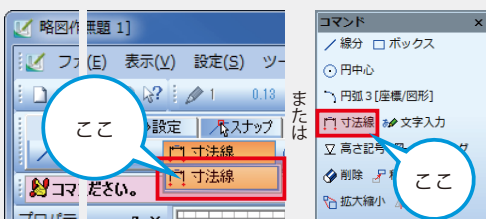


# 寸法線を描画する

寸法線を描画します。

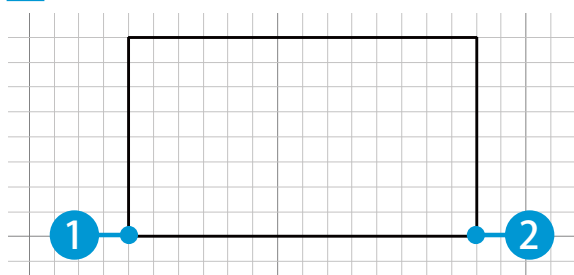
## コマンド

[作図] → [寸法線] → [寸法線]

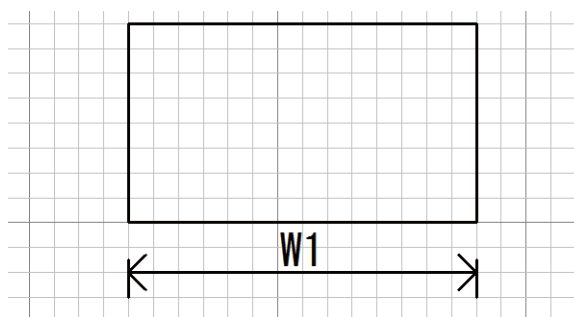
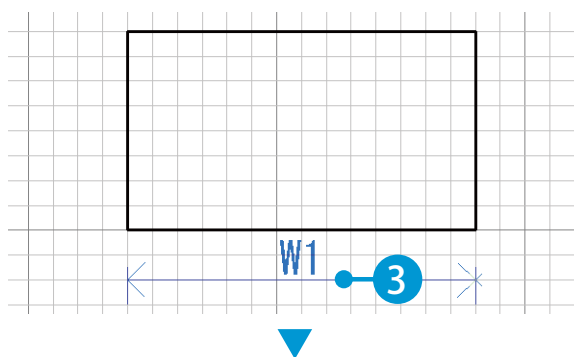


## 操作手順

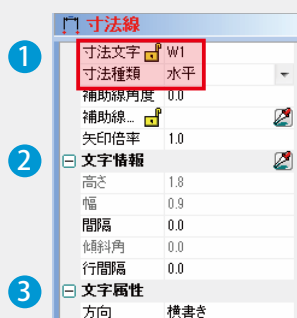
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 寸法を出す辺の両端をクリックします。



- 4 寸法線の描画位置をクリックします。



## プロパティボックスの設定



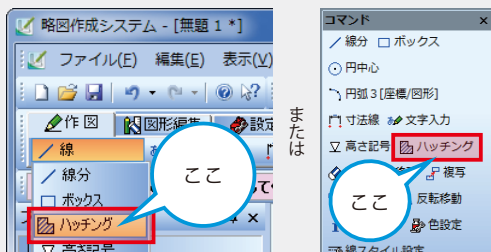
- 1 【寸法文字】  
寸法の文字を入力します。
- 【寸法種類】  
寸法の種類を選択します。
- 【補助線角度】  
補助線の角度を設定します。
- 【補助線長さ】  
補助線の長さを設定します。
- 【矢印倍率】  
矢印の倍率を設定します。
- 2 文字情報  
文字の高さや幅などを設定します。
- 3 文字属性  
文字列の方向を指定します。

# ハッチングをかける（塗り）

指定した範囲を塗り潰しや斜線で埋めていきます。

## コマンド

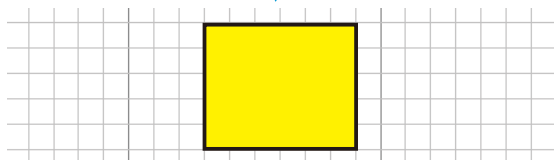
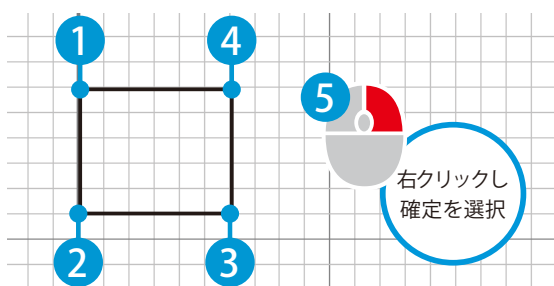
[作図] → [線] → [ハッチング]



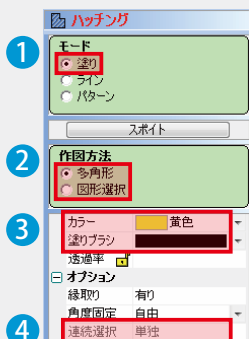
## 操作手順

### A 作図方法：「多角形」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする範囲をクリックします。



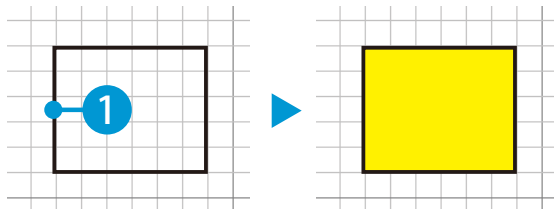
## プロパティボックスの設定



- 1 モード  
【塗り】塗りのハッチングを描画します。
- 2 作図方法  
A 【多角形】図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。  
B 【図形選択】図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。
- 3 【カラー】色を設定します。  
【塗りブラシ】ハッチングを行うブラシを設定します。  
【透過率】透過率を設定します。
- 4 オプション  
【連続選択】図形の選択方法を設定します。  
単独：図形を単独で選択します。  
連続：図形を連続で選択します。

### B 作図方法：「図形選択」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする図形をクリックします。  
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。

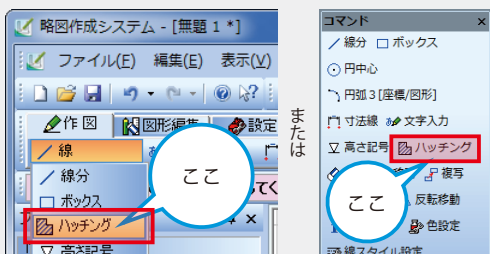


# ハッチングをかける (ライン)

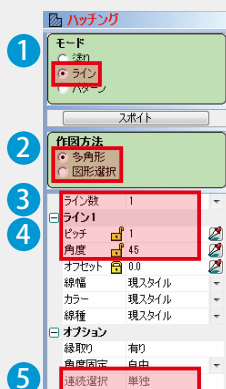
指定した範囲を塗り潰しや斜線で埋めていきます。

## コマンド

[作図] → [線] → [ハッチング]



## プロパティボックスの設定

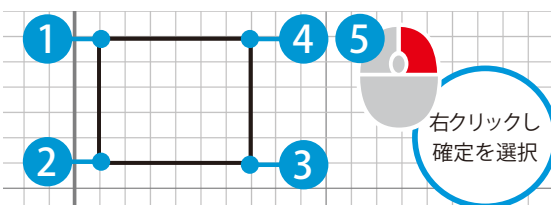


- ① モード  
【塗り】塗りのハッチングを描画します。
- ② 作図方法  
A 【多角形】図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。  
B 【図形選択】図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。
- ③ 【ライン数】ハッチング線の本数を設定します。
- ④ ライン 1  
【ピッチ】ライン間の距離を設定します。  
【角度】ラインの角度を設定します。
- ⑤ オプション  
【連続選択】図形の選択方法を設定します。  
単独：図形を単独で選択します。  
連続：図形を連続で選択します。

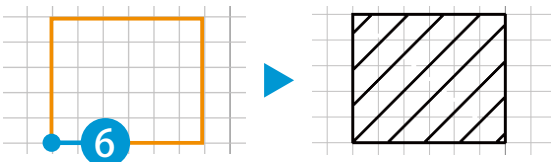
## 操作手順

### A 作図方法：「多角形」の場合

- ① コマンドを選択します。
- ② プロパティボックスで設定します。
- ③ ハッチングする範囲をクリックします。

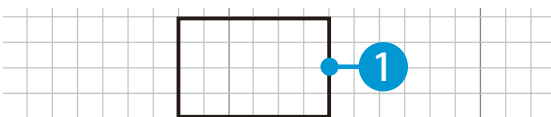


- ④ 基準点をクリックします。

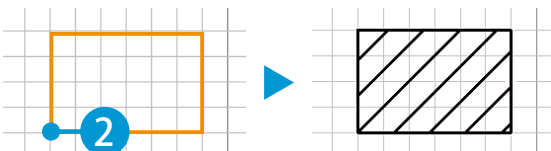


### B 作図方法：「図形選択」の場合

- ① コマンドを選択します。
- ② プロパティボックスで設定します。
- ③ ハッチングする図形をクリックします。  
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。



- ④ 基準点をクリックします。

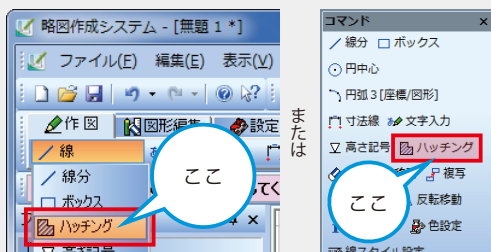


# ハッチングをかける (パターン)

指定した範囲を振り潰しや斜線で埋めていきます。

## コマンド

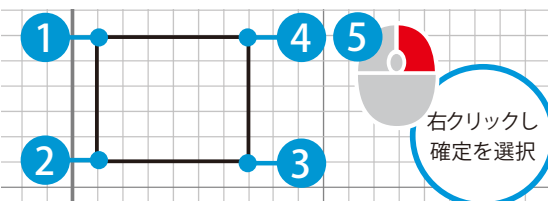
[作図] → [線] → [ハッチング]



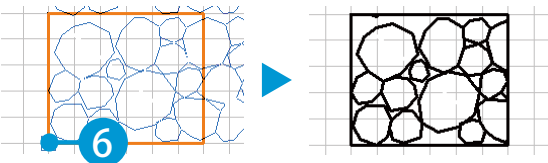
## 操作手順

### A 作図方法：「多角形」の場合

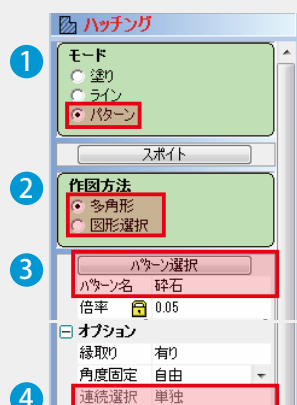
- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする範囲をクリックします。



- 4 基準点をクリックします。



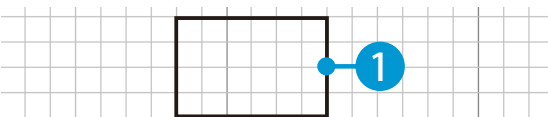
## プロパティボックスの設定



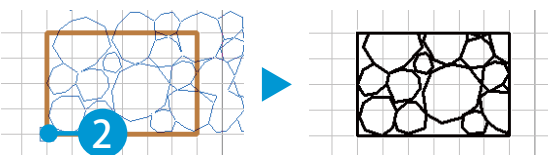
- 1 モード  
【パターン】パターンのハッチングを描画します。
- 2 作図方法  
A 【多角形】図形要素の点を選択し、ハッチングの領域を指定します。  
B 【図形選択】図形要素を選択し、ハッチングの領域を指定します。  
3 【パターン選択】ハッチングパターンを選択します。  
【パターン名】パターン名が表示されます。
- 4 オプション  
【連続選択】図形の選択方法を設定します。  
単独：図形を単独で選択します。  
連続：図形を連続で選択します。

### B 作図方法：「図形選択」の場合

- 1 コマンドを選択します。
- 2 プロパティボックスで設定します。
- 3 ハッチングする図形をクリックします。  
※プロパティボックスの「連続選択」で「単独」を選択して操作しています。



- 4 基準点をクリックします。

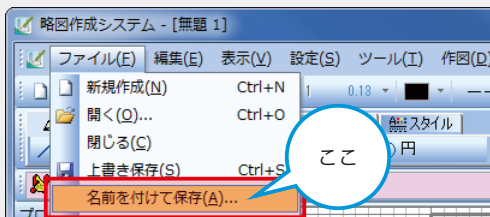


# 図面を保存する

図面を保存します。

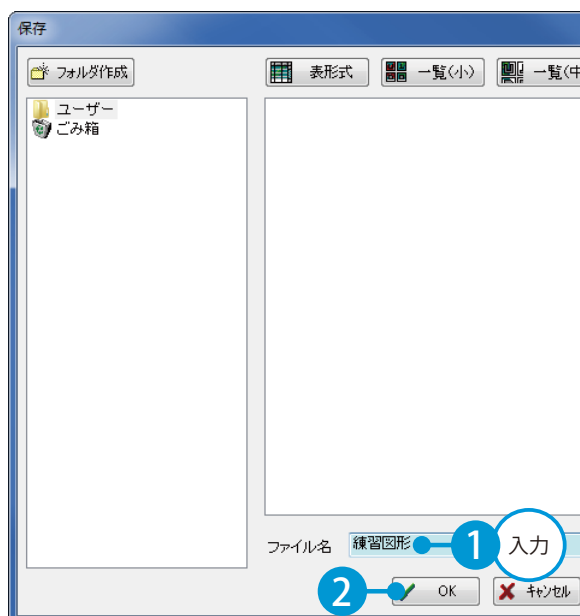
## コマンド

[ファイル] → [名前を付けて保存]



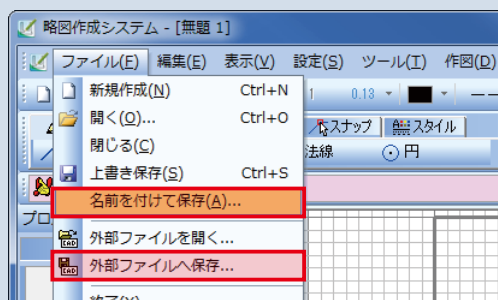
## 操作手順

- 1 コマンドを選択します。
- 2 任意の図面名を入力します。



## 図面データを保存する場合

- 現在編集中的の図面に名前を付けて保存する  
[ファイル] → [名前を付けて保存]
- 選択したファイル形式で図面を保存する  
[ファイル] → [外部ファイルへ保存]  
※出力形式：RKZ



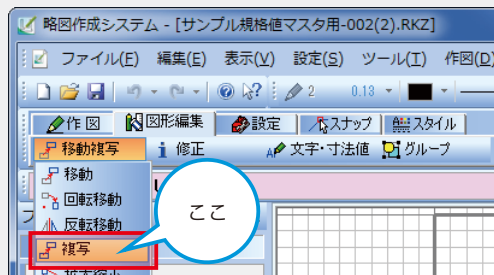


# 他の図面に複写する

編集中の図面に、他の図面の一部をコピーして貼り付けます。

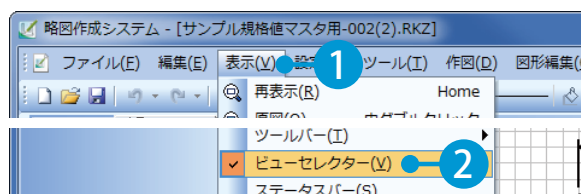
## コマンド

[図形編集] → [移動複写] → [複写]



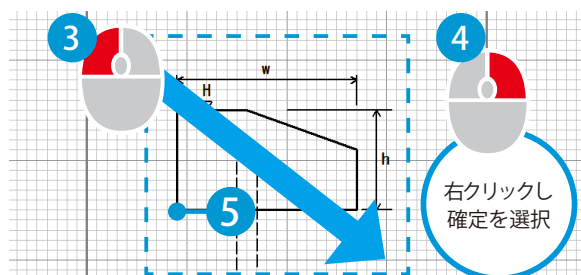
## 操作手順

- 1 [表示] → [ビューセクター] にチェックを付けます。

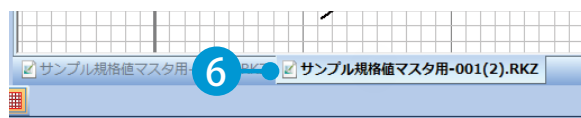


- 2 コマンドを選択します。

- 3 複写する略図をドラッグして選択し、基準点をクリックします。

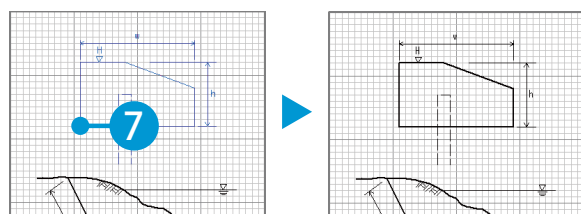


- 4 複写先の図面名をクリックします。



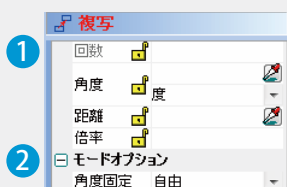
- 5 プロパティボックスの設定をします。

- 6 図を配置する位置でクリックします。



- 7 Esc キー、または右クリック → [初めから] を選択し、複写を終了します。

## プロパティボックスの設定



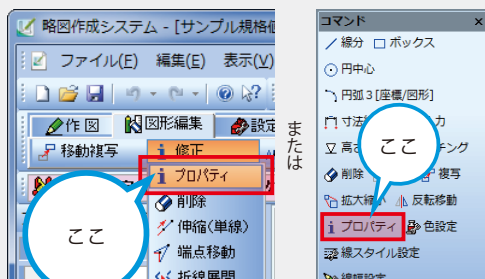
- 1 【回数】  
繰り返し複写する回数を指定します。  
【角度】  
角度を指定します。  
【距離】  
距離を指定します。  
【倍率】  
倍率を指定します。
- 2 モードオプション  
角度固定の設定をします。

# 線幅・線色・線種を変更する

すでに描画されている線の色や種類(属性)を変更します。

## コマンド

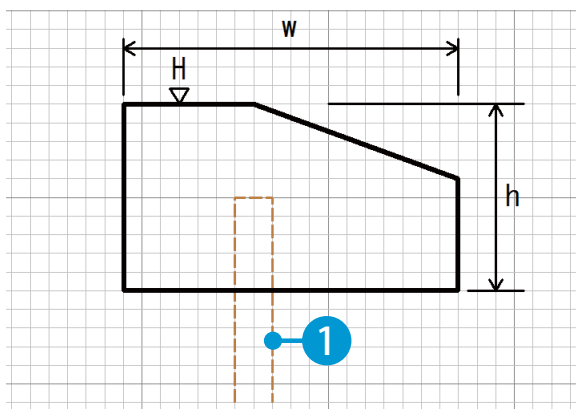
[図形編集] → [修正] → [プロパティ]



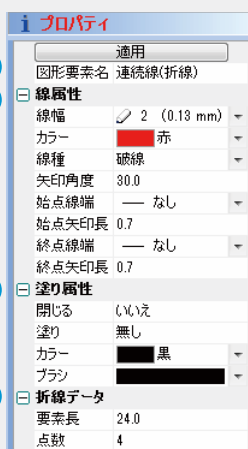
## 操作手順

1 コマンドを選択します。

2 変更する線をクリックします。



## プロパティボックスの設定



1 【適用】  
設定を適用します。

【図形要素名】  
図形の要素名を表示します。

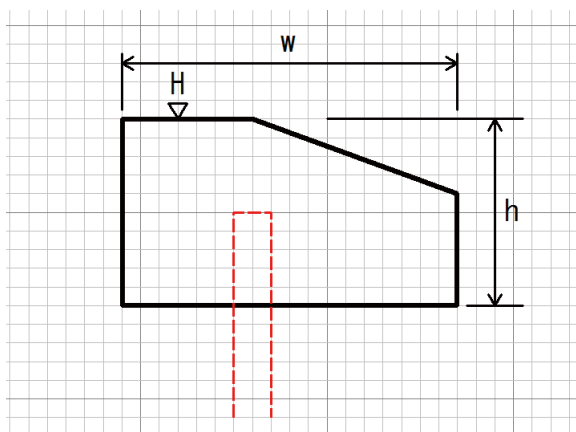
2 線属性  
線の幅や色、種類を設定します。

3 塗り属性  
塗りの設定をします。

4 折れ線データ  
要素の長さや点の数を表示します。

3 プロパティボックスの設定をします。  
※設定後「適用」をクリックします。

4 線幅・線色・線種を変更できました。

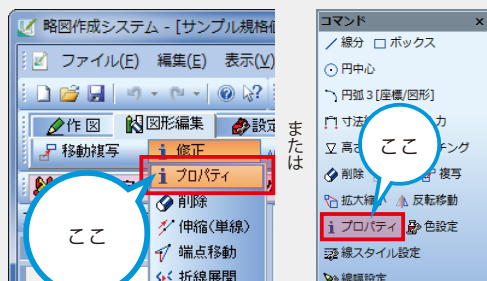


# 文字サイズを変更する

すでに描画されている文字の色や種類（属性）を変更します。

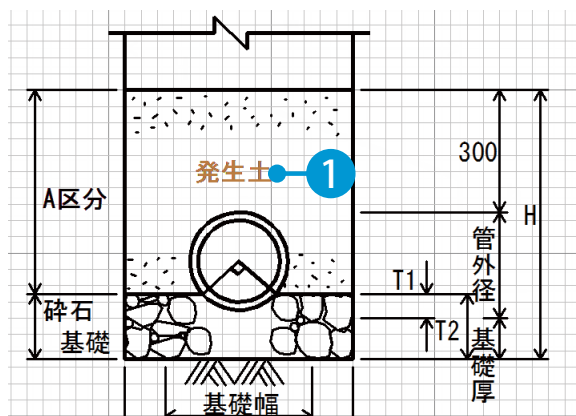
## コマンド

[図形編集] → [修正] → [プロパティ]

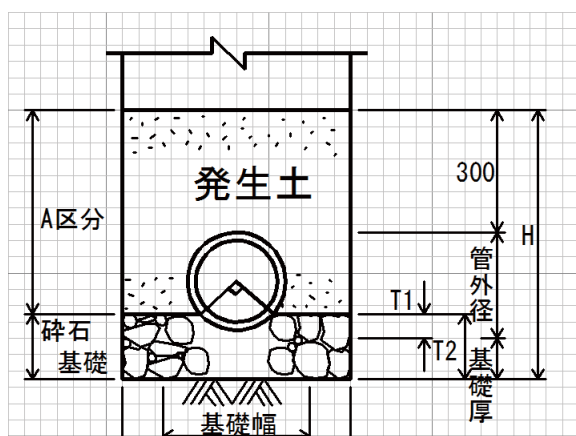


## 操作手順

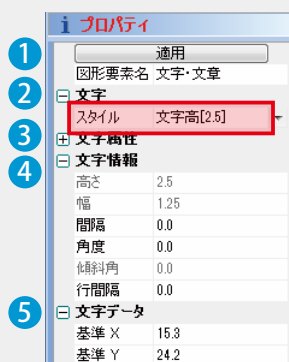
- 1 コマンドを選択します。
- 2 変更する文字をクリックします。



- 3 プロパティボックスの設定をします。  
※設定後 [適用] をクリックします。
- 4 文字のサイズを変更できました。



## プロパティボックスの設定



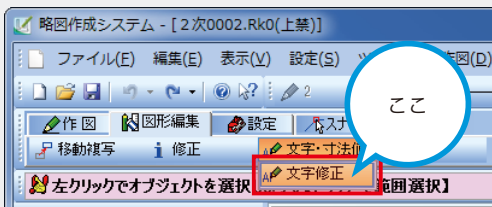
- 1 【適用】  
設定を適用します。  
【図形要素名】  
図形の要素名を表示します。
- 2 文字  
文字のスタイルを設定します。
- 3 文字属性  
カラーやフォントなどを設定します。
- 4 文字情報  
高さや幅などを設定します。
- 5 文字データ  
基準の X・Y 座標を設定します。

# 文字を修正する

描画されている文字を修正します。

## コマンド

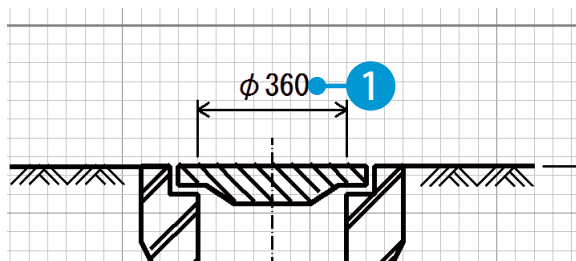
[図形編集] → [文字・寸法値] → [文字修正]



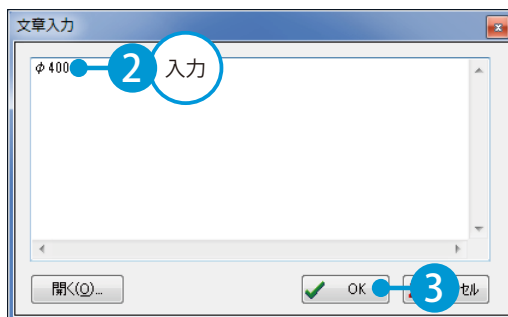
## 操作手順

1 コマンドを選択します。

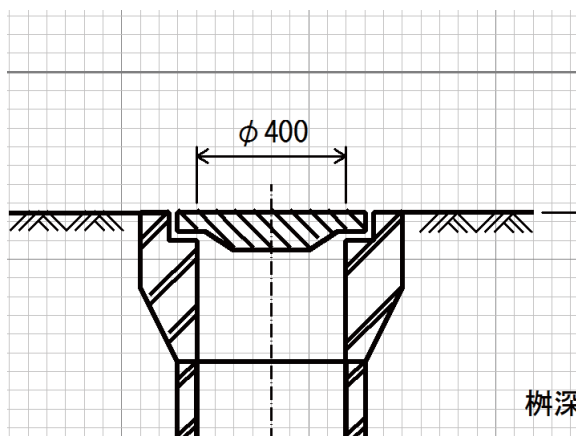
2 修正する文字をクリックします。



3 修正する文字を入力します。



4 文字を修正できました。



## ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

### ① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

#### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにあるショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

検索

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601  
2024 年 10 月 28 日 発行

このマニュアルは、略図作成システム Ver.2.02.00 の画面で作成しています。